

# 北教

発行所  
北海道教職員組合  
札幌市中央区南3条西12丁目  
電話 (561) 8289  
発行人/林 秀彦  
編集人/野 中 靖  
組合員の取次等は  
組合員の中に含む  
定価5円  
印刷費の別 印刷 紙 工  
電話 (561) 3597

信頼の  
バックアップ  
教職員共済  
北海道支部  
TEL 011-533-1801

## 東京で脱原発選挙 北海道の世論示す好機

### さようなら原発 全道100万人署名を成功させよう



街頭での署名活動 (1.18、札幌3越前)

一人十筆の完遂を  
東京都知事選挙(二月九日投票)で原発問題が最大の争点に浮上したことから、東京において脱原発の声が高まりを見せています。これを東京ローカルの動きにとどめず、全国で呼応して脱原発の声を上げることが安

倍政権の原発推進政策を軌道修正させる上で、大変重要だと言えます。こうした中、北教組が昨年来とくりくんできた、高橋知事に泊原発の再稼働を容認しないことなどを求める「原発のない北海道の実現を求める『全道一〇〇万人』署名」の最終集約日(二月二十六日)が迫っています。目標署名数は各組合員十筆。まだ達成していない方には是非達成を、既に達成している方もあと一声、知人・友人によびかけてください。

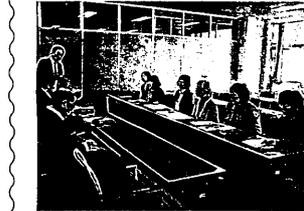


署名がんばろう集会  
一月十八日には札幌市内のかでる2・7で「全道一〇〇万人署名をがんばろう! さようなら原発北海道集会」が開かれ

六〇〇人の市民・組合員が集まりました。集会では慶應大学教授の金子勝さん(写真)が「原発は火力よりも高い」と題して講演しました。金子教授は、「原発に反対する人たちはまじめだから、経済成長を犠牲にしても命が大事」と言うが、それではゼカネの世の中を変えられない。原発をやめないと世界の技術革新に取り残されるし、やめることが経済成長につながる」などと説きました。

重篤な副反応の実態が明らかになった子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)接種を定期接種から外すことを求めて「子宮頸がん予防ワクチンを考える会」(白倉 関係者、女性団体などの有志による団体。要請には北政連の市橋修治道議が立ち会いました。(写真)要請は①子宮頸がんワクチン接種を定期接種から外すよう厚労省に要請し、道内市町村に対して中止を指導すること②学校における予防接種の扱いを検証し接種によって体調不良を訴える子どもには状況回復を最優先すること、を求めるもの。道は「国が定期接種の取り扱いを変えておらず、責任主体は市町村にあるので道は判断する立場にない」などこれま

ど同様の対応にとどまりました。



「特定秘密保護法」の国会前座り込みや各地で行われたデモなどの情勢報告と今後最大限のとりくみをすると、委員長は

十二月六日(金)に行われた「しょうがい児学校部委員会」では、まず「特定秘密保護法」の国会前座り込みや各地で行われたデモなどの情勢報告と今後最大限のとりくみをすると、委員長は

あいつつがありました。その後、しょうがい児学校部長より議案の提案があり、「国連障害者の権利条約」がいよいよ批准となり、「差別解消法」の「合理的配慮」や「差別事例」のガイドラインやパブリックコメントにとりくむこと、「学校教育法施行令」の改正による就学システム変更により「保護者の意向については可能な限りその意向を尊重しなればならない」という九月一日付の文科省通知を周知し、共生・共学の運動方針に則り、とりくみを強化することなどが提案され承認されました。



季節外れの雨が降る十月二十七日(火)十一時より、二〇一三年度北教組事務職員部委員会が北海道教育会館四階大樹にて開催されました。端副部長の開会宣言、緑の山河斉唱の後、林中央執行委員長より挨拶がありました。千葉事務職員部長の挨拶の後、来賓の渡辺春彦日教組事務職

員部長、佐々木恵美子・市橋修治道議から連帯の挨拶がありました。また、齋藤幸子芽室町議、佐藤武志中標津町議、榎本基音更町議から連帯のメッセージが紹介されました。午前中は、千葉部長より経過報告の後、第一号議案「当面の闘争推進に関する件について」の提

午後、第一号議案の質疑応答の後、十勝・帯広市・日高の三支部が教育予算拡充・主幹制度・組織強化拡大・特定秘密保護法等について討論が



「団結がんばろう!」、中島副部長による閉会宣言で委員会を終了しました。

買金改善を求める決議採択  
事務職員部委員会  
委員部長、佐々木恵美子・市橋修治道議から連帯の挨拶がありました。また、齋藤幸子芽室町議、佐藤武志中標津町議、榎本基音更町議から連帯のメッセージが紹介されました。

案が行われました。第一号議案については「二支部の代議員から主幹制度・加配に関する問題・義務教育全道集会・校外研修権、義務教育の政令市への税源移譲問題、年末賃金闘争等に関する質疑を受け昼食休憩となりました。午後、第一号議案の質疑応答の後、十勝・帯広市・日高の三支部が教育予算拡充・主幹制度・組織強化拡大・特定秘密保護法等について討論が

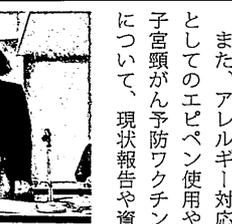
また、アレルギー対応としてのエビペン使用や子宮頸がん予防ワクチンについて、現状報告や資料が出されました。討論の中では、健康日本21に関わって健康診断結果を行政から求められる現状や、集団フッ素洗口を導入していない地域には、行政からの圧力がかかっている実態が報告されました。健康診断結果を目的外使用させず、保護者を巻き込んだ諦めないたたかいを進め、地域に情報を発信していくことの重要性が確認されました。また、学力向上

行われ、第一号議案は全会一致で承認されました。第二号議案では、後志支部から「学校事務職員部の賃金改善を求める決議」が提案され、全会一致で承認されました。第三号議案では、執行部から二〇一四・一五年度日教組事務職員部長(日教組中央執行委員)推薦にかかわる件」が提案されました。その後、今後の闘いにむけた強い意思を確認し、千葉部長による「団結がんばろう!」、中島副部長による閉会宣言で委員会を終了しました。

プラン事業である「通学合宿」に参加した子どもたちの疲労による体調不良の問題や組織拡大のために新採用者や未組織者への具体的にとりくみの成果も出されました。各支部からの討論全般で子どもたちの人権やプライバシー、健康を守り、仲間とのつながりを強めることの重要性を再確認し、一号議案・二号議案(選挙管理委員会)が承認されました。

健康と人権を守るとりくみ強化  
養護教員部委員会  
第五十七回養護教員部委員会が十二月十六日に開催され、十九支部の代表委員二十八名と傍聴四名が参加しました。議案の提案の中で、健康診断票の目的外使用の問題、集団フッ素洗口に対するとりくみ状況や問題点、新採用者への対応、また、子宮頸がん予防ワクチンに

対する中止要請書提出など、北教組の様々なとりくみが報告されました。質問、要望としては、フッ素洗口を考える市民集会開催や、本部主催のサマースクールの講座に養護教員対象の内容が設置されるよう強く声が出されました。



また、アレルギー対応としてのエビペン使用や子宮頸がん予防ワクチンについて、現状報告や資料が出されました。討論の中では、健康日本21に関わって健康診断結果を行政から求められる現状や、集団フッ素洗口を導入していない地域には、行政からの圧力がかかっている実態が報告されました。健康診断結果を目的外使用させず、保護者を巻き込んだ諦めないたたかいを進め、地域に情報を発信していくことの重要性が確認されました。また、学力向上

プラン事業である「通学合宿」に参加した子どもたちの疲労による体調不良の問題や組織拡大のために新採用者や未組織者への具体的にとりくみの成果も出されました。各支部からの討論全般で子どもたちの人権やプライバシー、健康を守り、仲間とのつながりを強めることの重要性を再確認し、一号議案・二号議案(選挙管理委員会)が承認されました。

# もに40年 北退教の活動

会議

北退教の活動

- 年金
- 税制
- 親睦
- 交流
- 平和
- 教育
- 観望
- 講演・学習
- 医療
- 介護
- 広報

物騒なうごめきが…  
「教え子、次世代を戦場に送らない!」  
「平和なくして社会保障なし!」

## ぜひ北退教にご加入を!!

いま北退教では12月から5月迄を加入強化期間として会員拡大に全力をあげています。七千の退教の仲間が皆心をこま心よりお待ちしております。ぜひともご加入下さるようお願い致します。再任用の方もぜひご加入下さるようお願い致します。

### 護憲・平和・脱原発

### 生活・福祉

## 北退教、憲法反対に決起!!

### わきあがる秘密保護法反対のうねり

かつては秘密保護法が、秘密保護法を制定し、わきあがる動きが大きくなり、北退教は、この動きに呼応して、秘密保護法に反対する活動を行っています。

安心・信頼の地域医療を求める皆さんにご協力ください  
後期高齢者医療制度は廃止を  
連合北海道 北道連 道連 道連連  
マツダラング01年全 高齢者医療の改善を! 街頭署名

原発反対

原発反対

## 断じて容認できない

### 高退連・道退連が抗議!!

5年間の全力あげたとりくみ!! 北教一北退教も

高退連の怒り 国政を動かす!!

空前の157万! 150万署名 目標突破

後期高齢者医療制度を廃止

原発反対

## 辺野古・オスプレ

### 第4次日退教沖縄交流団

豪雨の中で基地撤去を叫ぶ(普天間)

11月25日(土)～26日(日)に行われたこの交流団は北退教から数名が参加し、沖縄は各県からの仲間と現地の実態を見聞、米軍基地撤去の全面的強化を望んでいます。

後期高齢者医療制度を廃止

原発反対

## 米寿会員の声

### 今、不穏な気配に平和を願う!!

礼 櫻 境 登 代 さん

気が付けば、八十八歳にも、この平和な時代が過ぎてきたらと感謝しております。思えば私が生きてきた時代は戦中戦後の激動の時代でした。物不足と種々な食糧に喘ぐ悲鳴を上げてきた時代もありませんでした。ところが今また時の流れと共に見えてきた変化が、自衛の域を越えてもやむを得ないとする等の不穏な気配が、あの時代に戻したくありません。心から平和を願うばかりです。

## 民主教育を守ろう!

米 壽 藤 妙 子 さん

北退教に加入することは、現職時代退教の強い支えを感じていたので自分も入会しようと思っていました。人手不足なので事務局に入ってほしいとのお願いに難渋的な仕事なら引き受けました。先日、私の歓迎会と仲間の快気祝いを兼ね温泉一泊の会を設けていただきました。これからは、退教主催の(月一定例)「ストップ! 改憲」懇話会で学習を深め、民主教育を守る活動に参加していきたいと思っています。

## 子どもたちの未来のために

石 狩 千 葉 磨 理 子 さん

多くの市民が反対を叫ぶ中、「秘密保護法」が成立しました。「国家安全保障会議設置法」も成立し、次は、集団的自衛権、共謀罪が、安倍政権は、着々と戦争のできる国づくりへと突き進んでいます。教育では、愛国心教育により、国家を第一とする気風を持つ青少年を育成する内容に変えられています。教え子を再び戦場に送る子どもたちの未来のために、今こそ、この言葉を胸に刻み、あきらめずに関わり続けなければいけない思いを新たにしました。

## 新会員の声

### 余裕ある教育活動こそ…!

小 樽 原 幸 男 さん

四月から再任用勤務をしています。以前よりも時間にも気持ちにも余裕ができてきました。謙んでおくだった本も読んでいます。また、趣味も色々広げていこうです。学校では、子どもたちとゆったり接することができ、時間にも気持ちにも余裕がある中で教育活動こそが大事であると感じています。教育の場が、ますます余裕がなくなっていくように微力を尽くしたいものです。

# 北退教って? Q&A

## 1. 北退教とは?



北退教(北海道退職教職員連絡協議会)は、24の退教の連絡組織で会員は約7,000人、全国一の会員数です。また日退教(日本退職教職員協議会)に加入し全国6万人の仲間と要求実現のため協力しています。



今から40年前の1974年、退職教職員の福利厚生と経済的、社会的、政治的地位をたかめるためにつくられました。

## 2. どんな活動してるの?



退職者が安心して暮らせるよう年金や医療、介護、税制、そして次世代のためにも教育・平和・脱原発などに積極的にとりこんでいます。

誕生カードのプレゼント、旅行、パークゴルフ等のレクリエーション、講演会・学習会、サークル活動、懇親会、相談活動等で交流を深めています。

その他、教職員共済や互助会の利用、会員が亡くなった時のご相談にも応じるなど、いざという時にもたよりになる組織です。

## 3. 入会するには?



### (1) だれでも入れるの?

幼・小・中・高・北教組等の退職者ならだれでも入れます。もちろん管理職も。不幸にも会員が亡くなった時は配偶者も入れます。会費は年1,300円。他に各退教費を集めています。

### (2) 入会の手続きは?

いつでも入会できます。下欄の入会申込書に記入し、居住する退教、又は北教組各支部へお送り下さい。なお、退職時に教職員共済から退職見舞金請求用紙がきますので、北退教入会申込書と一緒に送っていただいてもよろしいです。

# 特集 北教組と



いろいろな相談



イラスト 酒井芳徳さん(札幌退教)



懇親



## レク、懇親、誕生カード

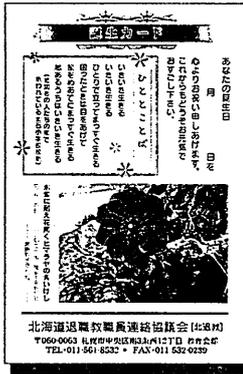


## 現退一致・交流



## 北退教、全分会へ激励

「うれしうれしい、私たちが大切にしている北退教の全分会へ激励のメッセージを送っています。北退教の全分会は、北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州の各都府県にあり、それぞれが地域に根ざり、活動しています。北退教の全分会は、北退教の発展と、退職者の生活の向上に努めています。北退教の全分会は、北退教の発展と、退職者の生活の向上に努めています。北退教の全分会は、北退教の発展と、退職者の生活の向上に努めています。」



誕生カードは今年で三十一年続き、七十七歳以上(今年)は四千一人会員の約半数の会員に送っています。「カードをみる度に心の糧として感謝しております。」等、毎回たくさんのお礼のハガキをいただいています。

## 誕生カード(今年で31年)

講演 師 兼古哲郎さん(元日退教会長)

「戦争は教室から始まる」を聞いて

原発から海と子ども

沖野誠一さん(元日退教会長)

北退教各ブログ

## 北退教入会申込書

退職教職員協議会

〔入会希望の地域退教協名(上の地図参照)を記入してください。〕 20 年 月 日

ふりがな	ふりがな	ふりがな	ふりがな
入会者氏名	配偶者氏名	入会者氏名	配偶者氏名
生年月日	生年月日	生年月日	生年月日
住所	〒□□□-□□□□ 電話( )	住所	〒□□□-□□□□ 電話( )
退職学校名	退職年月日	20 年 月 日	備考

「麗月人を持たず」と言われますが、激動の昭和過ぎ、米寿を迎えました。私は、旧足寄村に生まれ、樺太の近くで少年時代を過ごしました。当時は戦時体制下で、十九歳で現役兵として入隊、戦後、先鋒の勤め教職を自し、標茶町で教職の道歩みはじめました。それから三十八年間、訓導管内六町村八校で勤務、ゆとりと充実の教育等を行ってききました。その中で最もやり甲斐を感じたのは、へき地に於ける複式教育の実践でした。



やりがい感じたへき地教育 (訓導萩原 政英さん)

秋風吹く頃、私は八十八歳、家族の支えに感謝しています。長い教員生活で、番心に残っている事は、勤めてすぐの学童展開です。山菜・海草集めに奔走する中、全農部下に集る玉音放送、敗戦を知りました。子供達を安心させ無事家に帰しました。お腹を空かせ親兄弟に会えない悲しみの涙をもう決して流さずにはいけません。今私は、毎朝のラジオ体操と、教え子達八十歳を頭にまくる手紙がなにより楽しみです。



流させまい悲しみの涙 (函館大野 房子さん)

く大連港や金州での作業に従事、後半は日露日休養。昭和二十二年三月末、佐世保に陸、無事帰還した。その後、中学教員として採用され定年退職(その後私学に九年)。いま健康維持の為泳いでいる。二三の病いで手術したため泳力が衰えたが泳いでいる。最近の政治状況は、全く喉がかわく、特に憲法改正の意図が見えにくれるのは、もつてのほか。なんとして阻止せねばと思う今日此頃である。



# 過酷な状況続く被災地の学校

## 福島県の教員・鎌田美津枝さんが講演

参院本会議で特定秘密保護法が强行採決、可決された翌日の十二月七日、「反核・軍縮・地球を守る女たちの集会」が開催されました。

講師に鎌田美津枝さんを迎え、「原発事故 福島からの報告」を題に講演をしていただきました。鎌田さんは震災当時、福島県楢葉町で小学校教員をされていた方で、震災から一〇〇日以上が経過した今もなお、福島県では多くの学校が教育禁止区域になっていて、それぞれの避難先での教育が余儀なくされています。散らばってしまった子どもたちや保護者へ十分な対応をしてあげられない悔しさを、県や国として満足な対策がされない現状への怒り、教職員の遠距離通勤や年度途中の異動などの過酷な勤務状況など、聞いているだけで胸を締め付けられるような内容でした。

講演に続いて、北広島支会東部小分会の中原直彦さんによる歌声「転校

してつたミヨちゃん二〇一」を披露していただいた後、食と農でまちづくりの会(ニセコ町)代表の秋元昌子さんから「私を描く持続可能な社会へ泊原発をめぐる取り組みから考える」、平和運動フォーラム幌延現地監視委員会特別監視員の本田正さんから「幌延の現状」を報告していただきました。二人ともそれぞれの町で精力的に活動されている方々ですが、み



んなが微力でも行動することで少なからず成果はある、子どもたちの未来のために、微力でも行動していくことが大事だと、力強く伝わってくるお二人の報告でした。参加者からも賛同・連帯の意見が多く出されました。

私たちは「原発のない北海道の実現を求める『全道一〇〇万人』署名をはじめ、各地域に根ざした反核・軍縮・原発の運動を、今後も粘り強くすすめていくことが重要です。

金子 仁美 (女性部副部長)

十一月十四日(木) 十時(金)の二日間、日本教育会館において、第二十回教育相談全国集会在開催されました。北は北海道、南は九州各地から四十八名の相談員・現職教員が参加し、集会在進行されました。

主催者を代表し、小西清一館長の歓迎の挨拶があり、続いて、山下英三郎氏の「スクール・ソーシャル・ワーカーII教育と福祉の連携による子ども支援II」の講演がありました。

■関係の希薄  
講演では、今の子どもが置かれている現状についてのお話があり、情報化・二極化・無縁化の観点で状況の詳しい報告がされました。特に、無縁化のお話のなかで、子どもたちの間で関係の希薄化が急速に進んでいるというお話は印象に残りました。

子どもたちが直面している問題に、スクール・

ソ・ソーシャル・ワーカー(SW)が社会福祉という立場でかわつていくことが益々重要になってきていると問題提起されました。

従来の対応は、おとなの枠組みを押し付けることが多く、子どものニーズとの間にズレを生み出していた。

また、問題を個人に還元してしまい、社会的背景を無視する傾向があった。

■潜在力に焦点を  
最近では、人間尊重・可能性追及を基本姿勢としながら、エゴジカルな視点を重視している。

※エゴジカル…学校・家庭・地域など、子どもを取り囲む環境の問題を問題として取り上げるのではなく、その中にある潜在力に焦点をあて、それを発揮できるように支援していくことが大切である。行動にはすべて意味があり、ネガティブにみえる行動にも、その子を理解する大きな

要因が潜んでいる。あくまでも、子どもの側から物事を考えていく必要があると力説していただきました。

また、個人(教員)が子どもの問題を抱え込むのは最悪のケースであり、現代社会の複雑化を考えると、おこる問題も複雑になっている。専門性のある人たちがかわりをもち、多様なサポートネットワークを築くことが大事である。そのことによって、学校現場の負担軽減にもつなげていく。

しかし、このような外部との連携には、様々な問題がある。情報の共有化組織問題の丸投げ、限界の設定など、解決しなければならぬ問題が山積しているのも現実である。

しかし、スクール・ソーシャル・ワーカー配置の意義は、子ども代弁者の観点から学校と外部をつなぐ役割が機能するようになるれば、学校の活性化と安心・安全の場の確保に寄与できるのではな

## 教育相談の充実へ 関連機関との連携学ぶ

～第20回教育相談全国集會に参加して～

相談員：相馬麗子・森田正治

いかと話を結びました。地域の問題を交流グループディスカッションでは、名古屋・山形・宮崎・大分・東京のグループで、地域を抱えている

SWとの連携についても、もっと研修しなければと痛感しました。

二日目は、山下先生が提示した事例題材をもとにしたグループワークを十分程度するのが双方の限界ではないか、相談者が不快感を感しないために、どう打ち切るかということも話題になりました。

北海道の状況については、月一回事務局会議を開催し、相談事例についての話し合いをもつており、協力者との意見交換の場も年二回持つていたことも報告しました。このような体制をとっている地区はないようです。

全国の相談員と交流し、新たな発見があり、相談員として向上するために示唆をたくさん受けました。

今後の相談活動に活かす、傾聴をモットーに相談者と向き合っていくと思っています。

このような機会を与えていただいた関係者に感謝申し上げます。



問題と交流しました。今回のテーマは「SWの役割」でしたが、相談員自身スクール・カウンセラー自体に関わることがなかったため、わからない部分が多く、

### 人事委員会 新潟大・世取山洋介准教授が証言 国家の干渉から子どもを保護

「日の君」道人事業委員会事業

第四回口頭審理が十二月十六日、道庁別館の研修室で行われ、北教組側の証人として新潟大学教育学部世取山洋介准教授が証言しました。世取山准教授は「教師の自由な教育活動が、子どもの自律的な良心の形成を国家による干渉から保護するという観点から、本件職務命令および戒告処分はいずれも違法とされるべき」「どんなに議論を後退させても、不起立・不斉唱行為の教育活動と

「日の君」道人事業委員会事業  
道教委は、10年度卒業式の「君が代」斉唱時に起立しなかった日高管内小学校教員の北教組組合員に対して、「職務命令違反」による「訓戒措置」を勧告して「戒告」とし、さらに11年度入学式の不起立に対して、「1か月間10分の1の減給」を強行しました。これらは、「処分」により、教育の自由と教職員の思想・良心の自由を侵害し、ひいては子どもたちの思想・良心の形成を阻害する行為で、斯くて容認出来ないものです。こうしたことから北教組は、両「処分」の取り消しを求めて人事委員会に審査請求しました。

口頭弁論後の総括集会であいさつする世取山教授

### 法廷闘争 北教組弁護団が最終準備書面の要旨を陳述し、結審

一・三〇貫闘ストライキ札幌地裁事件

第九回口頭弁論が十二月二十四日、札幌地裁で開かれました。この日は北教組弁護団が最終準備書面の要旨を口頭で陳述し、裁判が結審しました。

最終準備書面では北教組弁護団は「一・三〇スト」の原因は、道・道教委が地公法の定めを違反して人勸制度を無視・否定する誠実交渉義務を果たさなかったこと、交渉を打ち切ったこと、すなわち行政当局の法令遵守義務違反にある。このことは、道教委が北教組組合員に対して地公法三十七条一項違反の七条一項違反の責任を問う前提を欠いていること

1.30貫闘ストライキ処分取消請求事件

北教組は、道教委の1.30貫闘スト参加者全員処分に対して、処分の取り消しを求め札幌地裁に審査請求しました。しかし北海道人事委員会が道教委の処分を「承認する」としたこと、北教組は昨年3月、北教組組合員76名が原告となり、処分の取り消しを求めて札幌地裁に提訴しました。



第九回口頭弁論後の結審集會の様子